

林 務 課

1 森林の概要

(1) 森林面積

上田地域の森林面積は65,710haで、森林率(総面積に占める森林の割合)は72.6%(県全体:77.9%)となっている。民有林の人工林率(国有林以外の森林のうち人工的に植栽等が行われた森林の割合)は53.7%(県全体:48.7%)と比較的高くなっている。(単位:ha、%)

区 分	総面積	森 林 面 積						森林率	民有林の人工林率
		国有林	民 有 林				合 計		
			人工林	天然林	その他	計			
上田市	55, 204	12, 056	13, 754	12, 826	944	27, 524	39, 580	71. 7	49. 9
東御市	11, 237	3, 751	1, 053	822	30	1, 905	5, 656	50. 3	55. 3
長和町	18, 386	8, 238	4, 751	2, 642	206	7, 600	15, 838	86. 1	62. 6
青木村	5, 710	940	2, 300	1, 334	62	3, 696	4, 636	81. 2	62. 1
計 (A)	90, 537	24, 984	21, 859	17, 624	1, 242	40, 725	65, 710	72. 6	53. 7
県計 (B)	1, 356, 160	368, 028	334, 967	333, 219	19, 920	688, 105	1, 056, 134	77. 9	48. 7
(A) / (B)	6. 7	6. 8	6. 5	5. 3	6. 2	5. 9	6. 2	—	—

(2) 民有林の樹種別面積

アカマツが22.2%、カラマツが31.5%を占め、2樹種で過半を占めている。アカマツの占める割合は県全体と比較して大きく上回っており、アカマツへの依存度が高い。

区 分	単位	スギ	ヒノキ サワラ	アカマツ	カラマツ	その他 針葉樹	広葉樹	計
人工林	ha	1,944	1,905	5,012	12,431	119	447	21,859
天然林	ha	2	3	3,750	8	83	13,778	17,624
計	ha	1,947	1,908	8,763	12,439	202	14,225	39,483
構成比	%	4.9	4.8	22.2	31.5	0.5	36.0	100.0
県計	ha	55,278	52,027	90,633	178,280	15,289	276,679	668,186
構成比	%	8.3	7.8	13.5	26.7	2.3	41.4	100.0

(3) 民有林における人工林の林齢別面積

森林の高齢林化が進み、51年生以上が全体の83.2%を占めている。

区分	単位	林 齢 (年 生)						計
		20 以下	21～30	31～40	41～50	51～60	61 以上	
上田地域	ha	566	355	978	1,768	4,972	13,220	21,859
構 成 比	%	2.6	1.6	4.5	8.1	22.7	60.5	100.0
県計	ha	3,260	3,850	11,171	30,609	80,035	206,041	334,967
構成比	%	1.0	1.1	3.3	9.1	23.9	61.5	100.0

(4) 個人有林における森林所有規模別の林家数

森林所有面積が1ha以下の林家数が全体の74.1%を占め、県全体の67.2%を上回っている。

区 分	単位	所 有 面 積 規 模 (ha)					計
		1 以下	1.01～5	5.01～10	10.01～20	20 超	
上田地域	林家数	9,979	2,913	407	134	33	13,466
構 成 比	%	74.1	21.6	3.0	1.0	0.2	100.0
県 計	林家数	114,351	42,750	8,244	3,498	1,245	170,088
構 成 比	%	67.2	25.1	4.8	2.1	0.7	100.0

(1)～(4)については、小数点以下四捨五入のため、各項の加算値は必ずしも一致しない。

出典：(1)～(4) 長野県民有林の現況（令和7年版）

（５）林業生産額の状況

管内の令和６年度の林業生産額（推定）は１１億７,０００万円で、全県の８％を占めている。

令和６年度の木材生産量は、民有林においてカラマツを主とする主伐が進み、令和５年度より約２９千ｍ³増加した。

【令和６年度 林業生産額（一部推計値）】

種 類	生 産 量			生産額（単位：百万円）				備 考
	単位	全県	上田	全県	上田	占有率	構成比	
木 材	千ｍ³	603	70	6,739	784	12%	67%	国有林を含む
木 炭 等	トン	10	0	4	0	0%	0%	竹炭、木酢液、竹酢液を含む
薪	層積 ｍ³	15,485	128	162	1	1%	0%	
特用林産物	トン	8,493	443	7,372	385	5%	33%	くり、くるみは含まれない
林業用苗木	千本	2,048	—	349	—	—%	—%	
計				14,626	1,170	8%	100%	

出典：令和６年度長野県林業統計書・令和７年度木材統計

２ 林業の振興対策について

（１）林業従事者等の現状

管内の林業従事者は、平成２５年度をピークに減少傾向にあり、令和６年度は前年度に比べ１１人（対前年度比８％）減少し、１２０人となった。

信州上小森林組合は、管内の林業従事者全体に対する区分比が３８％（全県の森林組合平均３０％）と高く、地域の中核的な事業体としての役割を果たすことが期待されており、今後とも人材の確保・育成等を強化していくことが求められている。

他の事業体についても、森林整備事業への従事を促進するため、引き続きセミナーや研修等を開催し、担い手の雇用による体制の強化とともに質的向上を図る。

ア 林業事業体、従事者の現状

（単位：団体、人）

区 分		事業体数		従事者数		区分比	
		管 内	全 県	管 内	全 県	管 内	全 県
森林組合		1	18	46	457	39	30
会 社	林業	9	103	47	741	39	48
	その他	4	25	10	93	8	6
個人営業体		8	50	17	142	14	9
その他（市町村・財産区・協同組合・ＮＰＯ）		0	13	0	105	0	7
合 計		22	209	120	1,538	100	100

出典：令和６年度林業事業体等調査（調査対象年度：令和６年度）

イ 森林組合の概要

（単位：人、千円）

組合名	年度	組合員数	事業取扱高	職員数	技能職員数
信州上小森林組合	合併時（H7年度）	8,427	1,996,523	36	101
	H14年度	8,365	1,974,258	31	86
	H21年度	8,229	1,197,228	27	64
	H28年度	8,193	1,178,541	31	83
	R 5年度	8,029	1,452,137	25	57
	R 6年度	8,008	1,296,840	24	52
県平均	R 6年度	4,506	497,011	16	29

出典：令和６年度等の森林組合一斉調査（調査対象年度：令和６年の各森林組合の事業年度）

(2) 県産材の利用促進

長野県県産材利用指針に基づき、公共施設等における県産材の利用を推進するとともに、型枠や杭など公共土木工事への積極的な県産材使用を関係機関と連携して推進している。

また、森林環境譲与税等を活用し、暮らしの中の製品を県産材製品へ替える事業やペレットストーブの導入に対し補助する事業を実施してきている。

さらに、令和8年4月に上小森林認証協議会が森林認証（SGEC）を再取得（更新）し、認証森林の適正管理と認証材の生産・流通に取り組んでいる。

ア ウッドチェンジ普及促進支援事業（令和7年度実績）

（単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
長和町	齋藤木材工業(株)	折りたたみチェアの製品開発等	1,765,600	1/2以内	882,800

イ 木質バイオマス循環利用普及促進事業（令和7年度実績）

（単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
上田市	上田市	ペレットストーブ導入に対する補助	300,000	3/4以内	225,000

ウ 上田地域のSGEC認証森林

上小森林認証協議会会員	森林の名称	※森林面積（ha）
上田市	上田市有林	3,015.34
	上田市東御市真田共有財産組合有林	1,616.41
	武石財産区有林	1,238.15
東御市	東御市有林	32.10
	滋野財産区有林	23.98
長和町	長和町有林	1,308.45
	古町財産区有林	204.24
	大門財産区有林	1,287.63
	長久保財産区有林	128.70
青木村	青木村有林	38.06
	青木村及び上田市共有財産組合有林	435.23
長野県	長野県営林（上田地域分）	533.62
信州上小森林組合	信州上小森林組合有林	8.63
計		9,870.54

※ 第1期森林認証…平成28年4月（8,971ha）

第2期森林認証…令和3年4月（9,442ha）更新

第3期森林認証…令和8年4月（9,870ha）更新

3 林業・山村の活性化対策について

(1) 野生鳥獣による被害発生状況

令和6年度の野生鳥獣による農林業被害額は約1億1,177万円、対前年比151%で、カラス及びニホンジカの被害額が約7,658万円で全体の約68%を占めている。この被害対策として、捕獲及び侵入防止柵設置等を実施している。

【野生鳥獣別の被害額】

(単位:ha、千円)

区 分			令和5年度		令和6年度		主 な 被 害 作 物
			被害面積	被害額	被害面積	被害額	
農 業	鳥 害	スズメ	10.2	5,108	6.0	7,068	稲、麦類
		カラス	59.6	21,676	58.6	22,866	果樹、野菜、豆類
		ヒヨドリ	31.5	1,031	31.5	1,040	野菜、果樹
		ハト	9.0	587	4.6	665	豆類
		その他鳥類	3.1	351	2.9	430	果樹、野菜
		小計	113.4	28,753	103.6	32,069	
	獣 害	ツキノワグマ	3.4	761	4.0	963	野菜、果樹、飼料作物
		イノシシ	21.2	3,923	14.9	6,805	野菜、果樹、いも類
		ニホンジカ	88.1	26,648	85.3	46,155	稲、野菜、果樹、豆類
		カモシカ	2.9	662	5.2	1,467	野菜、果樹
		ハクビシン	50.7	11,899	51.2	15,944	野菜、果樹
		その他獣類	3.0	853	3.2	812	稲、野菜、果樹
		小計	169.3	44,746	163.8	72,146	
	計		282.7	73,499	267.4	104,215	
林 業	獣 害	ニホンジカ	5.3	684	7.9	7,561	カラマツ
		その他獣類	—	—	—	—	
	計		5.3	684	7.9	7,561	
合計			288.0	74,183	275.3	111,776	対前年額比 151% R6 県全体の 13%
長野県全体				774,674		849,948	

出典：林務課、農業農村支援センター資料、県環境白書

(2) 野生鳥獣による被害対策の状況

野生鳥獣による農林業被害は、経済的な損失はもとより、地域住民へ精神的なダメージを与えていることから、市町村が行う捕獲などを支援するほか、平成19年度から林務課、農業・農村支援センター等により構成される野生鳥獣被害対策チームを組織し、市町村と連携しながら、被害集落に対して電気柵設置などの「集落ぐるみの被害対策」に取り組んでいる。

ア 野生鳥獣総合管理対策事業の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和7年度実績			令和8年度計画(要望)		
	事業量	事業費	補助金額	事業量	事業費	補助金額
ツキノワグマ移動(学習)放獣	46頭	3,906	1,952	39頭	3,245	1,623
鳥獣被害対策実施隊員支援	237人	320	160	250人	405	203
銃猟者確保育成支援	2人	60	20	54人	490	245
捕獲檻等購入支援	35基	220	108	30基	218	108
広域捕獲支援	1式	658	250	1式	500	250
ツキノワグマ総合対策事業	—	—	—	1式	723	602
計		5,164	2,490		5,581	3,031

イ 鳥獣被害防止総合対策交付金の実績及び計画

(単位：千円)

事業の種類	令和7年度実績			令和8年度計画(要望)		
	事業量	事業費	補助金額	事業量	事業費	補助金額
緊急捕獲活動 支援事業 (個体数調整)	シ 2,613 頭	40,642	15,191	シ 3,060 頭	38,920	19,460
	イノシ 264 頭	4,030	1,460	イノシ 340 頭	4,480	2,240
	ハクビシ 193 頭	679	193	ハクビシ 280 頭	480	240
	カラス類 250 羽	125	50	カラス類 1,000 羽	200	100
	捕獲確認アプリ	440	220	捕獲確認アプリ	150	72
推進事業	1 団体	2,098	2,072	1 団体	4,900	4,600
計		48,014	19,186		49,130	26,712

ウ 野生鳥獣の捕獲状況

(単位：羽、頭)

種別	令和5年度			令和6年度		
	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計
スズメ類	60	28	88	48	29	77
カラス類	3	928	931	1	526	527
ハト類	33	9	42	25	3	28
その他鳥類	156	20	176	76	3	79
鳥 類 計	252	985	1,237	150	561	711
ニホンジカ	223	3,085	3,308	521	3,090	3,611
ツキノワグマ	0	40	40	0	10	10
カモシカ	非狩猟獣	2	2	非狩猟獣	0	0
イノシシ	24	395	419	64	270	334
ハクビシン	6	255	261	4	284	288
その他獣類	12	761	773	31	733	764
獣 類 計	265	4,538	4,803	620	4,387	5,007

出典：林務課資料

(3) 特用林産物振興対策

地域振興に寄与する特用林産物の振興を図るため、研修会の開催などにより生産者の事業活動強化を図っている。

【特用林産物生産量の推移】

(単位：きのこ類・木炭等・山菜類 トン、薪 百層積m³、%)

区 分	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		前年度比	
		全県		全県		全県		全県		全県
きのこ類	807	8,744	473	8,418	292	8,121	438	8,493	150	105
ナメコ	784	5,687	439	5401.7	251	5,039.4	290	5,101.1	116	101
マツタケ	2.1	31.8	1.8	22.6	0.1	11.1	2	37.1	2,000	334
生シイタケ	19.3	3,017	32.2	2,985.3	39.6	3,070.5	144	3,348.8	364	109
木炭等	3.2	28.9	2.9	21.6	0	10.5	0.4	9.9	-	94
薪	0.6	249	0.5	161.1	1.1	163.8	0.1	154.8	9	94
山菜類	10.5	99	7.4	91.0	3.9	77.9	4.9	64	126	82

出典：令和6年度長野県林業統計書

(4) 森林環境教育の推進

次代を担う子供たちや地域住民に、身近な森林や森林資源を活用した活動等を通じて健全な森林の育成に対する意識の高揚を図っている。

ア みどりの少年団の現況（令和8年4月現在）

（単位：団、人）

地区	団数	小学生	中学生	計	活動内容等
上田	12	1,794	0	1,794	U E 森植樹の集い・交流集会等への参加、キノコ栽培・木工体験・森林教室等の実施
県全体	177	21,285	2,730	24,015	県全体はR 7 年 4 月現在

イ 森林環境教育に係る森林づくり県民税活用事業の実績

区分	事業名	事業主体名	活動内容
H29	木育推進事業（木育活動型）	上田市立傍陽小学校	学校周辺の森林を活用した森林学習他
H30	木工体験活動支援事業	（公財）身体教育医学研究所	県産材を活用した木工体験活動
	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 元	木工体験活動支援事業	上田市立南小学校	県産材を活用した木工体験活動
R 2	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 3	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 4	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 5	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備

4 森林整備について

(1) 森林整備の推進

森林資源の循環、森林の有する多面的機能の持続的発揮を図るため、路網整備や高性能林業機械の導入等も進めながら主伐・再造林や搬出間伐を主体とした森林整備を推進しており、これに伴い素材生産量も伸びている。

【素材生産量の推移】

（単位：m³）

区 分		H20①	H25	H30	R 5 ②	R 6 ③	③／②	③／①
全 県	国有林	136,354	183,927	216,592	169,802	173,320	102.1	127.1
	民有林	169,010	284,078	354,584	368,691	429,477	116.5	254.1
	計 A	305,364	468,005	571,176	538,493	602,797	111.9	197.4
上 田 地 域	国有林	28,591	24,489	49,846	3,371	20,628	611.9	72.1
	民有林	19,378	32,123	39,216	46,821	49,456	105.6	255.2
	計 B	47,969	56,612	89,062	50,192	70,084	139.6	146.1
	B／A	15.7%	12.1%	15.6%	9.3%	11.6%	—	—

出典：長野県木材統計（暦年実績）

(2) 里山整備の推進

長野県森林づくり県民税を活用して集落周辺の里山の整備も進めており、第3期に引き続き第4期においても「防災・減災」及びより多くの県民が里山の森林に親しめるよう「開かれた里山」の整備に取り組んでいる。

ア 里山整備方針の「防災・減災」優先整備箇所（令和8年5月時点）

市 町 村 名	上田市	東御市	長和町	青木村	計
優先整備箇所数	38 箇所	15 箇所	24 箇所	14 箇所	91 箇所
対象区域森林面積	396 ha	134 ha	198 ha	136 ha	864 ha

イ 上田地域の里山整備利用地域認定状況

認定年月日	市町村名	地域名	活動を推進する地域団体の名称
H30 年 10 月 25 日	上田市	霊泉寺温泉	霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト
〃	〃	飯 沼	里山環境整備プロジェクトチーム
H31 年 3 月 19 日	青木村	村 松 西	村松西地区里山整備利用推進協議会
〃	上田市	鹿教湯温泉	鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト
R 5 年 11 月 21 日	東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム
R 6 年 2 月 15 日	上田市	鈴 子	鈴子緑のフォレスト倶楽部

(3) 松くい虫防除対策の推進

管内の松くい虫被害は、昭和 59 年に上田市で確認されて以来、4 市町村で発生しており、令和 7 年度の被害量は 10,596 m³（対前年度比 93.6%）で、県全体の 20.1% を占め、松本に次ぐ被害量となっている。

平成 14 年度までは被害木の全量駆除を実施したが、平成 15 年度からは「守るべき松林」及び「周辺松林」において「集中と選択」により、被害木の伐倒駆除や樹種転換等の防除対策を集中的・効果的に実施している。

ア 被害の推移

（単位：m³、%）

区 分	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
上田管内	16,454	12,194	9,144	8,213	10,679	11,317	10,596
長野県	70,440	64,022	51,443	48,080	55,280	60,015	52,800
対全県比率	23.4	19.0	17.8	17.1	19.3	18.8	20.1

（R 8 年 5 月林務部資料、R7 年度は速報値）

イ 防除対策の実績

（単位：材積 m³、面積 ha）

区 分	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
伐倒駆除材積	7,014	5,048	3,447	4,296	5,962	6,627	5,739
地上散布面積	0	0	0	0	0	0	0
樹幹注入面積	2	2	1	1	1	1	1
樹種転換面積	9	9	13	14	5	4	7

(4) 林地保全対策の推進

山地災害から住民の生命、財産を守り、森林の公益的機能に対する社会的要請に対応するため、災害の防止や水源かん養等の機能の確保・向上を目的に治山事業を実施している。

また、保安林機能の維持増進のため、保安林の適正な配備を行うとともに、保安林整備事業を実施している。

なお、管内には多くの山地災害危険地区及び地すべり防止区域があり、今後も計画的に整備を進める必要があります。

【治山事業：令和7年度実績及び令和8年度計画】

(単位：箇所、千円)

事業名	令和7年度実績 ※1		令和8年度計画		対前年度比	
	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費
復旧治山 (R7 補正) ※2・※4	1	144,000				
防災林造成			1	120,500		
機能強化・老朽化対策	2	120,846	2	52,800		
保安林総合改良 ※2	2	10,054	3	36,300		
保育	1	4,202				
予防治山 ※2	1	46,200	1	58,300		
公共治山計 ①	7	325,302	7	267,900	100%	82%
県単治山 ※3・※5 ②	7	53,166	2	15,000	29%	28%
計 (①+②)	14	378,468	9	282,900	64%	75%

※1) 令和7年度実績には、令和7年度補正予算 (※4・※5) 及び8年度への繰越 (※2・※3) を含む

※2) 計3箇所 (復旧治山 (R7 補正) 1箇所・保安林総合改良 1箇所・予防治山 1箇所) 繰越事業費 177,641千円

※3) 計4箇所 繰越事業費 38,090千円

【令和8年度治山事業計画箇所一覧】 ※予算区分は全て令和8年度当初

番号	事業名	市町村名	箇所名	新・継	工種
1	防災林造成	上田市 (武石)	上本入	新	山腹工・森林整備測量設計 1 式
2	防災林造成	上田市 (武石)	上本入	新	落石固定工 1 式
3	保安林総合改良	上田市	小泉日向	継	森林整備 (本数調整伐 1.08ha ほか)
4	保安林総合改良	上田市	向山	新	森林整備測量調査 1 式
5	保安林総合改良	上田市	向山	新	森林整備 (危険木・倒木除去 1 式)
6	保安林総合改良	青木村	当郷	継	森林整備 (植栽準備工・植生導入工)
7	予防治山	東御市	布下	新	溪間工測量設計 1 式
8	予防治山	東御市	布下	新	谷止工 (コンクリート) 445m3
9	機能強化・老朽化対策	上田市 (丸子)	東原	継	谷止工 (コンクリート) 325m3
10	機能強化・老朽化対策	長和町	ホドノ沢	新	溪間工測量設計 1 式
11	県単治山	上田市	赤石	新	山腹工測量設計 1 式
12	県単治山	東御市	上滝ノ沢	新	山腹工 0.06ha

【山地災害危険地区】

(単位：箇所)

種別	山腹崩壊 危険地区	崩壊土砂 危険地区	地すべり 危険地区	計	備考
上田市	104	108	9	221	
東御市	13	7		20	
長和町	20	28	1	49	
青木村	7	20		27	
計	144	163	10	317	

【地すべり防止区域】

市町村	地すべり防止区域名	所在地	面積 (ha)
上田市	岳ノ尾 (たけのお)	上田市大字別所温泉字岳ノ尾	14.46
上田市	美志ヶ沢 (みしがさわ)	上田市大字上越戸字美志ヶ沢	7.98
上田市	大谷 (おおたに)	上田市大字別所温泉	12.39
上田市	日陰 (ひかげ)	上田市大字上室賀字日陰、熊野	5.01
計			39.84